



会社概要(2007年9月現在)

株式会社 久米設計 様

導入機種 → PJP-25UR / 6台

導入時期 → 2008年6月

基本構成 → 本社と全国5支社にPJP-25URを導入、
Lotus Sametimeと連携させたスムーズな遠隔会議を実現

| | |
|-------|---|
| 設立 | 1932年10月 |
| 資本金 | 9,000万円 |
| 登録番号 | 一級建築士事務所 登録379号(本社) |
| 所在地 | 本社:東京都江東区潮見2-1-22 支社:札幌、東北、横浜、名古屋、大阪、九州 / 事務所:静岡、広島 |
| 役員/社員 | 役員:19名 / 社員:技術担当472名、事務担当55名、合計527名 |
| URL | http://www.kumesekkei.co.jp/ |

Lotus SametimeとPJP-25URを連携させ、設計会社に最適な創造的コミュニケーションを実現しています。

Lotus Sametime 導入の経緯

Lotus Notesのバージョンアップに合わせLotus Sametimeを本格活用。

- 講演会の多地点配信がきっかけ
- Sametimeの在席表示機能を活用
- Voiceチャットの音質も向上

久米設計様は、建築の「トータルソリューション・ファーム」として多数の専門スタッフが分野を超えて連携、数多くの輝かしい実績を誇っています。同社がLotus Notes R5/Sametime 3.0を初めて導入したのは、2002年10月。本社で開催された創立70周年記念講演会の様子を、Sametimeのミーティングルーム機能を使って全国6支社に配信しました。その際に遠隔会議への活用も検討しましたが、サーバを介した音声品質に問題があるなどの理由で、いったん保留に。その後2007年10月にLotus Notes 6.5を7.0へバージョンアップしたのに合わせ、Lotus Sametime 7.0の本格運用を開始します。Notesと統合されたSametimeの在席表示機能とVoiceチャット機能などに着目。老朽化していた幹部社員用の在席表示盤もLotus Sametimeに統合し、全社の情報コミュニケーション基盤として活用することになりました。

PJP-25UR 導入の経緯

PJP-25URによりヘッドセットを使わない自然な会話の実現。

- デモで音質の良さを実感
- テレビ会議より安価な導入コスト
- 将来的には自席でも使用可能

同社は2008年初めから、社内の情報共有とコミュニケーションの活性化を目的に、テレビ会議システムの導入検討を始めました。複数のシステムを比較するなか、4月に開催されたIBM社のLotus Sametimeセミナーで、PJP-25URをSametimeと連携させた遠隔会議のデモンストレーションに注目。即座にテスト導入を行いました。同社がPJP-25URを評価したのは、まず音質の良さです。SametimeのVoiceチャット機能にPJP-25URを組み合わせることで、煩わしいヘッドセットを使わず、多地点・多人数でも自然な会話が可能になりました。また専用の機材や回線を使ったテレビ会議システムに比べ、導入コストが圧倒的に安価であり、将来の拡張性にも優れていることなども決め手となりました。2008年6月からは、SametimeとPJP-25URによる実際のWeb会議を開催。順調な運用を開始しています。

Lotus Sametime/PJP-25UR 導入の成果

設計会社の多様な資料共有と活発な議論に最適な環境を実現。

- 円滑な資料共有と双方向会話
- 出張費用と移動時間を削減
- 将来は自席からでも遠隔会議

総合的な設計会社である同社では、遠隔会議の際に非常に多くの資料共有が必要となります。一般的なExcelやPowerPointなどの他に、敷地写真、設計図面、意匠デザイン、模型等々。こうした多様な資料を多地点・多人数で共有しながら、双方向の活発な議論を実現するためには、Lotus SametimeとPJP-25URの組み合わせが最適だったと同社は評価しています。また、これまで年間で数億円かかっていた出張費用が削減され、移動時間を創造的なコミュニケーションにあてることができると同社は期待しています。現在の遠隔会議は、導入間もないこともあり、各拠点の会議室にデスクトップPCとPJP-25URを設置して行われていますが、近い将来には、社員が自席や会議テーブルなどからいつでも気軽に遠隔会議ができるよう、ライセンス数と機材を拡充していく方針です。

ご購入いただいた機種

PJP-25UR

希望小売価格:63,000円(本体価格 60,000円)
JANコード:F49 80693 23383 2

小型で軽量、可動式マイクアームで多彩な使い方に対応。
高音質で操作性抜群のWeb会議用マイクスピーカー!



Lotus SametimeとPJP-25URの連携で、 多彩な資料共有と、円滑で活発な双方向会話を実現。 会議スタイルを変革する画期的ソリューションです。

お客様の声

社内の遠隔会議には「資料共有」と「音声」が極めて重要。
だからLotus SametimeとPJP-25URの組み合わせが最適だと思います。

「PJP-25URは音質が素晴らしい。専用のテレビ会議システムの音声に勝るとも劣りません。社外の人と遠隔会議をする場合には、相手の顔が見えて安定して使える専用のテレビ会議システムが良いと思いますが、社内用では資料共有と音声更重要であり、SametimeとPJP-25URによるWeb会議が最適です。導入コストの安さ、いつでも、どこでも、気軽に遠隔会議ができる利便性を活かして、今後は用途をさらに拡充していく予定です。」(南部様)

「もともと当社ではLotus Sametimeのサーバが稼働しており、運用経験もあったので、Web会議システムの構築を機材調達から設定まで全部自前で行いました。そのためシステムが安定するまでは、正直なところ試行錯誤が続きました。特にPC環境にはそれなりのスペックが必要であること、Sametimeの操作を熟知する必要があることなどが教訓でした。新規で導入する場合には、Steriに導入支援を依頼したり、手順書を確認することが大切です。」(佐藤様)



設計本部建築設計部
設計部長
南部 真 様

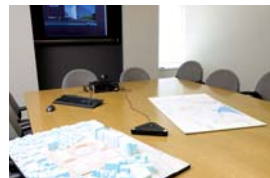


情報・研修センター
主管
佐藤 良志則 様

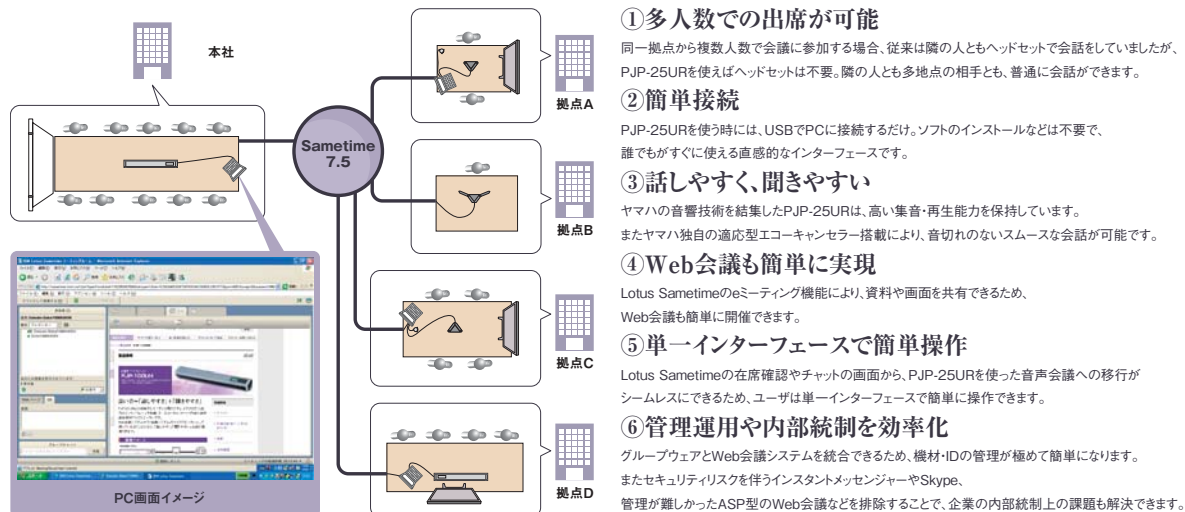
久米設計様のPJP-25UR活用

8kHzの広帯域による、多地点・多人数の遠隔会議が実現。
自席や打ち合わせスペースでの機動的な用途にも対応できます。

Lotus SametimeとPJP-25URを連携させた久米設計様の遠隔会議は現在、本社と全国5支社を結んで開催されています。新しい建築案件は全国各地で発生するため、本社・支社間で設計方針を検討したり、デザインや構造設計などの技術的な情報共有に頻繁に活用されています。こうした運用を積み重ねた上で、今後はSametimeの本来の活用方法である自席からのインスタントミーティングも行う予定。小型で軽量、多様なシチュエーションで使用できるPJP-25URの利便性は、こうした機動的な用途にも対応が可能です。



Lotus SametimeとPJP-25URによる遠隔会議の特長



PJP-25URの概要

- 寸法 / 229(幅)×152(奥行)×34(高さ)mm ●重量 / 570g ●電源 / USBバスパワー駆動、セルフパワー駆動(ACアダプタ別売) ●用途 / 会議用マイクスピーカー
- 音声インターフェース / USB2.0 Full Speed、アナログ入出力各1系統(ステレオミニジャック) ●周波数帯域 / 300~20000Hz(ステレオ再生時)
- 本体スピーカー / 2個、モラル再生、ステレオ再生(スピーカーのみ使用時) ●本体マイク / アレマイク(4個*3列)
- その他機能 / 適応型エコーキャンセラー、マイクアレイ制御、スピーカーステレオ再生、ファームウェアバージョンアップ(PCよりUSBで転送)



安全に関するご注意 ●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。



感動を・ともに・創る

プロジェクトフォンお客様ご相談センター

■お電話によるお問い合わせ先 ☎053-460-2822 ■FAXIによるお問い合わせ先 ☎053-460-2829

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

◎会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら <http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

ECO-PRINT このパンフレットは無塩漂白(ECP)パルプを使用しています。

再生紙 このパンフレットは再生紙と大豆油インクを使用しています。